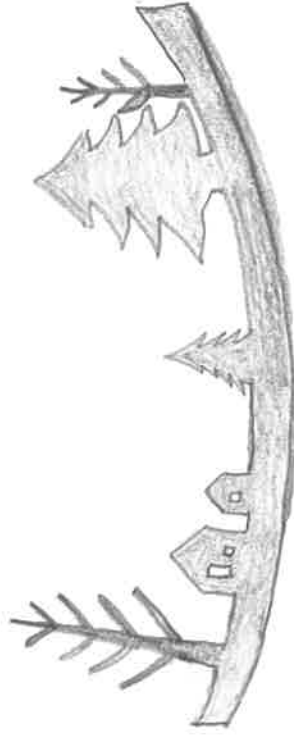




# 図書館だより



県立柏高等学校 図書委員会  
発行2018.12.17 No.283  
担当 守屋

みなさん、こんにちは。図書委員会です。長かった期末テストが終わり一段落といったところでしょうか。冬休みまであともう少しです。気分転換・読解力の向上・研究中の分野を深める…など目的は何でも良いので、是非この年始年末に1冊でもOK！是非本を読んでみてください。図書館は暖かいので読書を楽しむのにも、勉強をするのにも最適ですよ。みなさんのご利用お待ちしております。

## 冬休みの図書館

冬期休業中、図書館は閉館になります。貸し出しは終業式までお願いいたします。  
自習室としての活用はできます。12/28まで、9時から15時30分までになります。

さて、新学期が始まるまで休みがたっぷりあります。新しい本や映画、ドラマの原作などもたくさん置いてありますのでぜひご利用ください。1年生は総合学習の資料・進路の課題等も探しに来てくださいね。

**冬期休業中の特別貸し出し期間・・・借りたい本は1月7日(月)に返却です。**

**貸出冊数 ひとり 20冊までご利用できます。**

**受験用の赤本はもちろん、雑誌のバックナンバーも貸し出しできます。  
さあみなさん、この機会にじっくり、たっぷり読書してみませんか？**



## 【先生のおススメ本紹介】

今回本を紹介して下さったのは、英語科の鈴木先生です。お忙しい中、図書委員の依頼を快く引き受けてくださいました。みなさんぜひ読んでみてください。またこれを参考にしてください。

### 英語科 鈴木 紀子先生 (1年1組担任 茶道部・硬式テニス部顧問)

考える練習をしないと自分の頭で考えて判断することができないな、と思いその練習法を探しているときに出会った本が『100の思考実験—あなたはどこまで考えられるか』ジュリアン・バジー著、向井和美訳です。読みながら自分は物事をどのように捉え、何に価値を置いて思考するのかに気がきます。簡単に答えの出ない問いに引き込まれ、考えることがおもしろいと思えるのではないのでしょうか。クラスで紹介した『考える練習をしよう』マリリン・バーンス著、左京久代著も楽しみながら頭を使い、思考の幅を広げるのに良い本です。いろいろなもの見方や考え方があることを知れば、良質なコミュニケーションを築くにも役立ちそうですね。

疑問に対して何らかの答えが欲しいと思ったときにすっきりさせてくれるのがジェンマ・エルウィン・ハリス編、西田美緒子訳の『世界—素朴な質問、宇宙—美しい答え』と『世界—ときめく質問、宇宙—やさしい答え』です。数年前に洋書で見つけ、大切にしている本ですが、科学道100冊として図書館に入ったときは嬉しくすぐに読みました。

頭が疲れた時には心が落ち着く小説を好んで読みます。最近気持ちがほんわかした本は『ツバキ文具店』小川糸著とその続編の『キラキラ共和国』です。主人公である代書屋のポップちゃんが感化されてガラスペンとインクを買ってしまいました。忙しい年末ですがゆっくり筆を執り、なかなか会えない友人に便りを出そうと思っています。振り返れば本から多くの影響を受けている人生です。

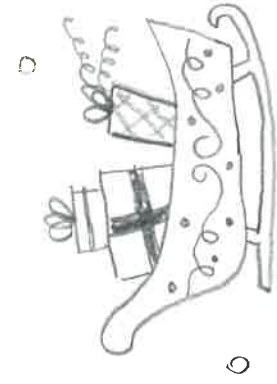
(紹介していただいた本は図書館にあります。)

> **新しい年が来ます。年内に借いたままになっている本は返却しましょう！** <<<

## 「図書委員リレーで紹介！」今回のオススメを順に紹介いたします。ぜひ手にとって見てください

『僕の記憶は80分しかもちたない』

私があなたに紹介する本は、小川洋子さんの「博士の愛した数式」だ。主人公の「博士」は数学専門の元大学教授だったが、事故で記憶障害となる。そんな彼の家政婦を任された「私」とその息子「ルート」が紡ぐ、切なく暖かい物語。題名の通りたくさん数式がでてくるが、それが重苦しくなく、こんなに優しく清らかなのはなぜだろう。数学がどんなに苦手でも大丈夫。きっと博士が楽しく教えてくれる。そしてきっとこの大きな愛に涙する。



図書委員 酒井

今回私が紹介する本は『文系人間のための「AI」論』高橋透著です。早稲田大学の教授である筆者は文系の大学生にAIについてを教えています。なぜ明らかなる系の分野を筆者は彼らに教えるのか。それはAIと筆者の専門分野の倫理学が密接な関係にあるからです。人間とインタビューで「人類を滅亡させる」と発言し、波紋を呼んだAIソフィア。機械であるAI達に私たち人間が持つ倫理観を持たせるには一体どうしたらでしょう。AIのことを良く知らない人でもとても読みやすい1冊です。

〇

〇

図書委員 M

# 新着案内



『フーガはユーガ』

『下鴨アンティーク』

伊坂 幸太郎著

白川 紺子著

筆者1年ぶりの新作です。Who?がYou?といったうなっているの？舞台はいつもおなじみ仙台のとある場所。一卵性双生児の2人の話です。それって取り違えられて片方が貧乏でもう一方がお金持ちとかありがちの設定なんて思っって読まない人、著者はそんなものを越えた設定。2人が持つ特異体質、定期的に入れ替わりが発生する設定です。不幸だったけど、強い絆の2人の人生をぜひ読んでください。

〇



『探偵は教室にいない』

川澄 浩平著

わたし、海砂真史には、ちょっと変わった幼馴染みがいる。幼稚園の頃から妙に大人びていて頭の切れる子供だった彼とは、別々の小学校に入って以来、長いこと会っていないかった。変わった子だなあと思ってた。どういう理由からか中学校にあまり行っていないらしい。しかし、ある日私の許に届いた差出人不明のラブレターをめぐって彼・鹿飼歩と9年ぶりに再会を果たす。日々に出会うささやかな謎を通して新たな扉を開く瞬間を切り取った青春ミステリ。

この他に入った新刊は書名だけ紹介しますね。

『やぶれかぶれ青春期』小松左京著 『ぼくを探しに』シルヴァスタイン著  
『5分後に癒されるラスト』エプリスタ著 『神の棘』須賀しのぶ著  
『マンガでわかるストレス対処法』野口哲男著 『ゼロトレ』石村友見著  
『少女には向かない職業』桜庭一樹著 『抗生物質と人間』山本太郎著  
『スタンフォード式最高の睡眠』西野精治著 『凍てつく太陽』葉間中顕著  
『グッバイ・クリストファ・ロビン』アン・スウェイト著  
『スマホゲーム依存症』樋口進著 『その先の道に消える』中村文則著  
『思い出が消えないうちに』川口俊和著 などなどたくさん入ってます。東野圭吾の新刊も入荷待ちです。学校にない本はリクエストしてね！

『眠れなくなるほど地理がおもしろくなる本』

ワールド・ジオグラフィック・リサーチ著

勉強は好きじゃなくても世界の国々のへーっと思う情報には興味ある人たくさんいるんじゃないかと思えますがそんなあなたに おすすめ。「北極と南極では3種類の特別な夜が体験できる」？のようあなた知らない、人に話したくなるような雑学がぎっしり384Pの大ボリュームでこれでもかかってくらしいに詰まっています。しかも図や写真もたっぷり入っているのです。本が苦手、地理なんて嫌いという方も無理なく読める1冊です。雑学王になれる、必ず地理に興味が増えます。

### お知らせ覚えてますか？

先月号の図書館だよりで予告したとおり11月と12月20日までの貸出分でたくさん利用された方にささやかなクリスマスプレゼントを差し上げたいと思います。集計後終業式の日に朝に本人に連絡致します。引換券をもらった方は放課後図書館の方にお立ち寄りください。さあ今ままであまり利用しなかった人もこの機会にたくさん本を読みましょう？